

名前：

今の世界では、インターネットの広い使用はもう皆が知っていることだ。インターネットは図書館みたい、最近のニュースだけ見つけるではなく、歴史がある資料もさがしやすいだと思っている。そして、インターネットがある場所でパソコンとかPDAとか、適切なことがあれば、資料の検索はすぐできる。でも、このインターネットが発達する世界では新聞と雑誌はずっといきている。それはどうしてですか。

ちなみに、インターネットは便利だ、けれども、取りやすいから、その同時に、価値感がなくなっている。紙はつめたいメートルとはちがって、特別な触感がある。それはちがひ気持ちにかかわらないで、物理の熱の伝導もそういうことを証明する。だから、紙はちなみに私たちにあたたかい感じを持ってくるとはまちがいないだ。だから、メートルより紙はもっと感情があることだと思っている。

じつは、便利姓から言ったら、今の信号を

受ける装置はだんだん小さくなるから、インターネットは絶対勝つけど、この使ったすぐ捨ててもいいインフォメーションは本当に私たちがいるものか。

私はそう思っている。インターネットとか新聞とか雑誌とか、どちらも存在の必要がある。この世の中に、いろいろなメッセージがあって、あなたにとって必要のを選んで、そして、場合によると、一番適当な受ける媒介を使う。それがいいだ。